

平成20年10月30日

各位

会社名 株式会社フジックス
 代表者 代表取締役社長 藤井 一郎
 本社所在地 京都市北区平野宮本町5番地
 コード番号 3600
 上場取引所 大証第2部
 問合せ先 取締役管理部長 山本 和良
 (電話番号) 075-463-8111

平成21年3月期 第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたします。

記

(単位;百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日~平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	2,669	0	19	16	2円19銭
今回発表予想(B)	2,589	37	77	3	41銭
増減額(B)-(A)	80	38	57	19	
増減率(%)	3.0		289.7		
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	2,615	119	153	89	12円22銭

平成21年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日~平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	2,201	77	53	56	7円68銭
今回発表予想(B)	2,207	26	3	22	3円5銭
増減額(B)-(A)	6	51	57	33	
増減率(%)	0.3				
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	2,208	16	13	6	84銭

修正の理由

個別の当第2四半期の売上高は順調に推移しております。利益につきましては、営業利益、経常利益、純利益ともに期初の予想より改善の見込みとなりました。その主な理由は、販売促進関連費用の増加、内部統制構築に係わる関連費用の増加及び()生産拠点移転統合損失(特別損失)の追加見積計上などがあったものの、生産拠点の滋賀事業所(東近江市)への移転統合が当初では当第2四半期中に完了すると見込んでいたところ、滋賀事業所に建築予定の染色新工場の建築許可が遅れたことにより、第3四半期以降に移転統合完了の見込みとなったことから、染色新工場稼働に伴う原価負担が第3四半期以降に影響することによるものであります。

連結の当第2四半期の売上高につきましてもほぼ順調に推移しているものの小幅ながら期初の予想を下回っております。利益につきましては、営業利益、経常利益、純利益ともに期初の予想を上回る見込みとなりました。その主な理由は、売上高の減少及びこれに伴う中国での操業度低下の影響による売上総利益の減少要因に加えて、個別の()生産拠点移転統合損失(特別損失)の追加見積計上があったものの、生産拠点の滋賀事業所への移転統合が第3四半期以降に見込まれることとなったことから、染色新工場稼働に伴う原価負担が第

3 四半期以降に影響することとなったことや、為替差益が発生した影響などによるものであります。

()生産拠点の滋賀事業所への移転統合に伴う損失発生に備えて、当初の入手可能な情報に基づき、生産拠点移転統合損失引当金を見積計上していましたが、山之内事業所の工場解体に関する詳細調査の実施により追加引当が必要となり、約23百万円を生産拠点移転統合損失として特別損失に計上しております。

なお、通期の業績予想につきましては、平成20年11月6日の第2四半期決算発表時に公表する予定であります。

(注)業績予測につきましては本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上